

令和4年度自治会・町内会講座を開催しました

公益財団法人あしたの日本を創る協会では、1月23日に東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷において「令和4年度自治会・町内会講座」を開催しました。自治会・町内会の実践者や行政職員など、約70名のご参加をいただきました。

第一部は、長谷川幸介さん（茨城県生涯学習・

いただきました。

第二部は「自治会・町内会のいままでとこれから」をテーマに、千葉県市原市の青葉台町会協議会顧問兼39PJ事務局長の田中功夫さん、千葉県柏市の柏市地域協働を考える会事務局長の深津英雄さんより事例発表がありました。

青葉台町会協議会は、青葉台地区の9町会による連合組織です。2018年の市主催円卓会議を契機として、団地再生への取り組み・39PJ（サンキュープロジェクト）は立ち上がりました。全3200世帯にアンケートを取り、ワークショップで地域課題を6分野28課題にまで落とし込み、現在は、各課題に対応した14チームで活動を行っています。高校生運営の喫茶店「青葉ノール」など、地域住民や行政と協働した新たな取り組みを進めています。



深津英雄さん

田中功夫さん

長谷川幸介さん

社会教育研究会会長）の講演でした。「これからの自治会・町内会を考える」とのテーマで、「つながる」ことで生き延びてきた人類の生存戦略、人類の最大の発明品である「社会」の変容、これからの地域活動の形などについてお話し

柏市地域協働を考える会は、2014年に発足した市民公益活動団体です。市と協働し、自治会の課題解決を図るべく活動しています。自治会活動講座の開催や相談窓口事業のほか、市内自治会を100箇所以上取材し、その内容を基に「活動事例集」や「自治会運営ガイドブック」等を作成しています。



事例発表では、自治会のこれからの姿などについてお話があり、専門的で継続が必要な活動は市民活動団体やNPOへ委託すること、自治会が地域の「つなぎ役」になること、自治会業務の負担軽減を図りICT化を促進することなど提言いただきました。

第三部は「自治会・町内会活動の悩み、思いを語ろう」をテーマに、質疑応答や意見交換を行いました。地域が望む地域担当職員の在り方、地域課題解決に取り組む福祉事業所の事例、活動に若者を巻き込むための秘策など、様々な意見が寄せられました。

なお、講座の詳細は次号で紹介する予定です。